

科目：1

建築物衛生行政概論



1. 日本国憲法・WHO 憲章・他

問題 1 日本国憲法第 25 条に規定されている次の条文の [] 内に入る語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

国は、すべての生活部面について、[ア]、[イ]、及び[ウ]の向上及び増進に努めなければならない。

ア イ ウ

- (1) 社会福祉——医療——環境衛生
- (2) 労働福祉——社会保障——公衆衛生
- (3) 社会福祉——社会保障——公衆衛生
- (4) 福祉行政——保健行政——医療行政
- (5) 公衆衛生——労働衛生——保健医療

H10-01 H14-01

問題 2 日本国憲法第 25 条に規定された国の責務に関する次の記述で、[] 内に入る語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

国は、すべての[ア]について、社会福祉、[イ]及び[ウ]の向上及び増進に努めなければならない。

ア イ ウ

- (1) 国民生活——公共福祉——生活水準
- (2) 国民——社会保障——生活環境
- (3) 生活部面——公共福祉——生活水準
- (4) 国民生活——公共福祉——公衆衛生
- (5) 生活部面——社会保障——公衆衛生

H12-01

問題 3 日本国憲法第 25 条に規定されている次の条文の [] 内に入る語句の組合せとして、正しいものはどれか。

すべての国民は、[ア]で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

国は、すべての[イ]について、社会福祉、[ウ]及び[エ]の向上及び増進に努めなければならない。

ア イ ウ エ

- (1) 健康——生活部面——社会保障——公衆衛生
- (2) 安全——国民生活——公共福祉——公衆衛生
- (3) 健康——国民——社会保障——生活水準
- (4) 安全——生活部面——公共医療——環境衛生
- (5) 健全——国民——公共医療——生活水準

H17-01

問題 4 世界保健機関 (WHO) の憲章の前文に述べられている健康の定義に関する次の文章の [] 内に入る語句の組合せのうち、最も適当なものはどれか。
健康とは身体的、[ア]及び[イ]に完全に良い状態にあることであり、単に疾病又は病弱でないということではない。

ア イ

- (1) 心理的——社会医学的
- (2) 精神的——福祉的
- (3) 精神的——社会的
- (4) 精神的——社会医学的
- (5) 心理的——経済的

H09-01

問題 5 世界保健機関 (WHO) 憲章の前文に述べられている健康の定義に関する次の文章の [] 内に入る語句の組合せのうち、最も適当なものはどれか。
健康とは、[ア]、[イ]および[ウ]に完全に良好な状態にあることであり、単に病気または病弱でないということではない。

ア イ ウ

- (1) 体力的——精神的——宗教的
- (2) 身体的——精神的——社会的
- (3) 体力的——心理的——経済的
- (4) 身体的——心理的——社会医学的
- (5) 体格的——心理的——福祉的

H13-01

問題 6 世界保健機関 (WHO) 憲章の前文に述べられている健康の定義に関する次の文章の [] 内に入る語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

健康とは身体的、精神のおよび[ア]的に完全に良好な状態にあることであり、単に病気または病弱でないということではない。

到達し得る最高標準の健康を享受することは、[イ]・宗教・政治的信念・経済的ないし社会的地位の如何にかかわらず、何人もが有する[ウ]のうちの一つである。

ア イ ウ

- (1) 経済——国家——基本的権利
- (2) 社会——国家——健康権
- (3) 経済——思想——基本的権利
- (4) 福祉——人種——健康権
- (5) 社会——人種——基本的権利

H15-01

問題7 ウィンスローの公衆衛生の定義に関する次の文章の□内に入る語句の組合せとして、最も適当なものはどれか。

公衆衛生とは、□アの改善、□イの予防、個人衛生を原則とした個人の教育、疾病の早期診断と治療のための医療と看護サービスの組織化、および地域社会のすべての人に、健康保持のための適切な生活水準を保障する社会制度の発展のために、共同社会の組織的な努力を通して疾病を予防し、寿命を延長し、肉体的・精神的健康と能率の増進を図る□ウであり、技術である。

- ア イ ウ
- (1) 環境衛生——伝染病——科学
- (2) 職場環境——生活習慣病——健康増進
- (3) 環境衛生——生活習慣病——基本的権利
- (4) 職場環境——伝染病——活動
- (5) 生活習慣——風土病——基本的権利

H18-01

★解答

問題1 (3) 憲法第25条「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

2 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障、及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」

- 問題2 (5)
- 問題3 (1)
- 問題4 (3)
- 問題5 (2)
- 問題6 (5)
- 問題7 (1)

2. 各種法令

問題1 各法律に基づいた資格や身分等に関する次の組合せのうち、不適当なものとはどれか。

- (1) 建築基準法——建築主事——建築監視員
- (2) 毒物及び劇物取締法——麻薬取扱責任者——環境衛生監視員
- (3) 労働安全衛生法——労働衛生コンサルタント——衛生管理者
- (4) 学校保健法——学校医——学校保健技師
- (5) 浄化槽法——浄化槽管理士——浄化槽設備士

H11-19

問題2 法律に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 薬事法は、「医薬品」に関することを定めている。
- (2) 毒物及び劇物取締法は、「麻薬」に関することを定めている。
- (3) 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律は、「家庭用品」に関することを定めている。
- (4) 化学物質の審査及び製造の規制に関する法律は、「化学物質の製造、輸入の規制」に関することを定めている。
- (5) 大気汚染防止法は、「自動車の排出ガスの許容限度」に関することを定めている。

H10-14

問題3 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律で有害物質として定められていない物質は、次のうちどれか。

- (1) 塩化水素
- (2) ダイオキシン類
- (3) テトラクロロエチレン
- (4) ホルムアルデヒド
- (5) デイルドリン

H11-20

問題4 次の地域、地区、区域とそれを規定している法律との組合せで、正しいものはどれか。

- (1) 防火地域——消防法
- (2) 高度利用地区——都市再開発法
- (3) 美観地区——建築基準法
- (4) 駐車場整備地区——駐車場法
- (5) 急傾斜地崩壊危険区域——都市計画法

H11-22